

目次

■ 論文	田原憲和	ルクセンブルク語コイナーと正書法 ——都市における共通語創出とその広がり——	2
	伊崎文彦	佐々木惣一の立憲主義論と自由主義思想の展開 ——第一次大戦前後の時期を中心に——	14
	室山留美子・穴澤彰子	吐魯番北涼文書の作成，保存，再利用，廃棄，埋納過程に関する一考察	26
	廣瀬真琴	総合学習のカリキュラム開発において初任者教師が抱える課題	42
■ 研究ノート	杉山和明	若者の生活空間と安心・不安感覚 ——浜松都市圏東部に暮らす高校生の語りをもとに——	51
■ 研究展望	古野貢	中世後期の武家権力と都市	67
	胡勁茵	宋代政治音楽史研究回顧及展望 ——樂政：宋代政治文化史研究の一個角度——	72
■ 特別寄稿	石田佐恵子・岩谷洋史	映像資料の収集と保存をめぐる問題 ——デジタル化時代の映像社会学に向けての試論	81
■ 書評	木戸紗織	Peter Di Natale 著 “Sprachpolitik und Linguistic Human Rights: Eine soziolinguistische Untersuchung zu Mehrsprachigkeit, muttersprachlichem Unterricht und Fremdsprachenunterricht in Sekundarschulen”	95
	足立匡敏・根来麻子	鈴木健一 著 『古典詩歌入門』	98
■ 海外レポート	荒木映子	知識人の役割——ロンドンをぶらぶらして考えたこと	105
■ ニュース 執筆要項 編集後記 執筆者一覧			108
			144
			145

表紙写真は、ルクセンブルク大公国の標語が記された出窓。ルクセンブルク語で「我々はあるがままでありたい」を意味する。長年、周囲の大国の影響下にあったことから、現在の独立を維持したいというルクセンブルク人の強い気持ちがこめられている。